

通勤・買い物時の交通手段に 関するアンケート調査

宇都宮市における交通手段に関する
アンケート調査について～補足版～

平成 18 年 10 月
環 境 省
(社)環境情報科学センター

アンケート調査の目的

本調査の目的

- 地方都市における中心市街地の衰退と郊外化が、地球温暖化に及ぼす影響についての定量的な評価を行うための基礎データを得ることを目的とする

宇都宮市における人の移動手段および移動距離に関する最新の
実態調査を行うためのアンケート調査を実施した

< アンケート調査の概要 >

市内就業者へのアンケート調査

- … 中心市街地の就業者に関する通勤時および買い物時の交通動態の把握

実地対面アンケート調査

- … 中心市街地および郊外型公共施設・郊外型大規模集客施設に実際に訪れた人々の移動手段・移動距離の把握

実地対面アンケートの概要



< 実地対面アンケート実施日 >

- 5月12日(金)～16日(火)
- ・中心市街地(パルコ前・オリオン通り)
 - ・郊外型公共施設(市立東図書館)
- 5月27日(土)～31日(水)
- ・郊外型集客施設(FKDインターパーク店)

< 実地対面アンケート調査方法 >

- ・実施日時:
5日間(平日:3日間、休日:2日間)
14時～19時
- ・対象者:自力で交通手段を選択できる人
(基本的に18歳以上)

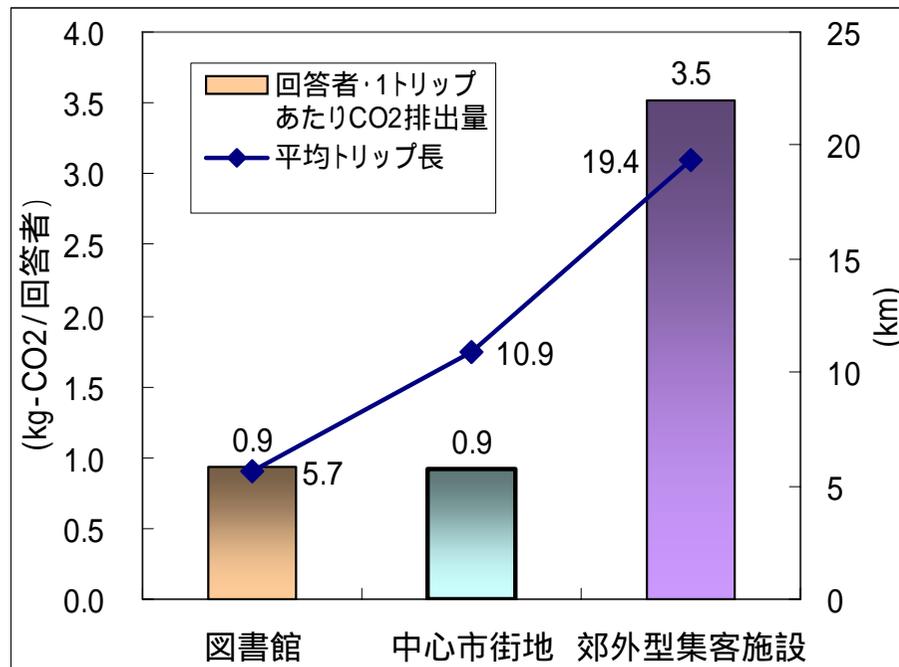
< 有効回答者数 >

中心市街地:	<u>394</u>
市立東図書館:	<u>617</u>
FKDインターパーク店:	<u>414</u>

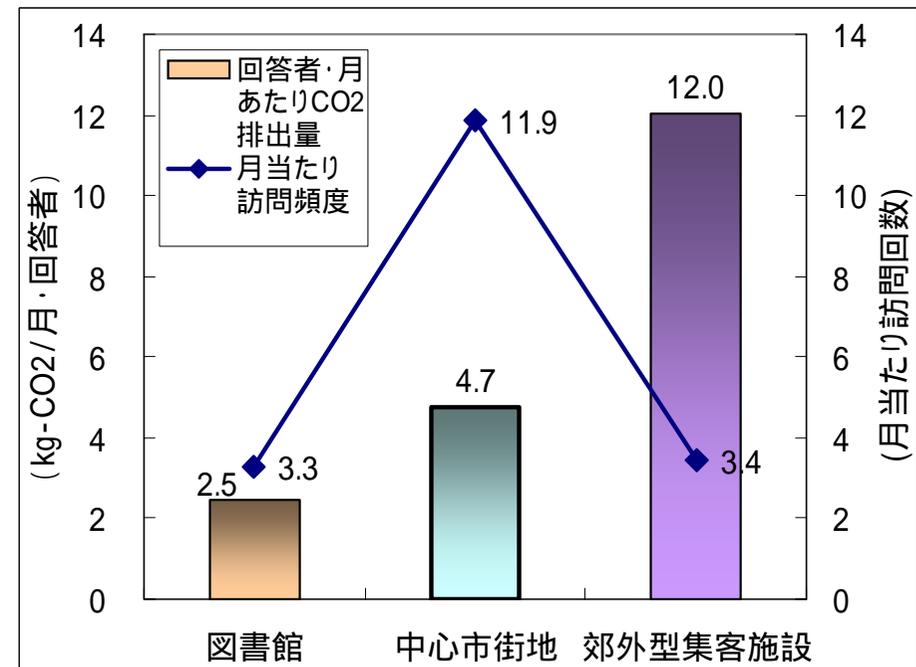
CO₂排出量の推計・・・実地対面アンケートの結果

訪問頻度による比較

訪問1回あたりのCO₂排出量



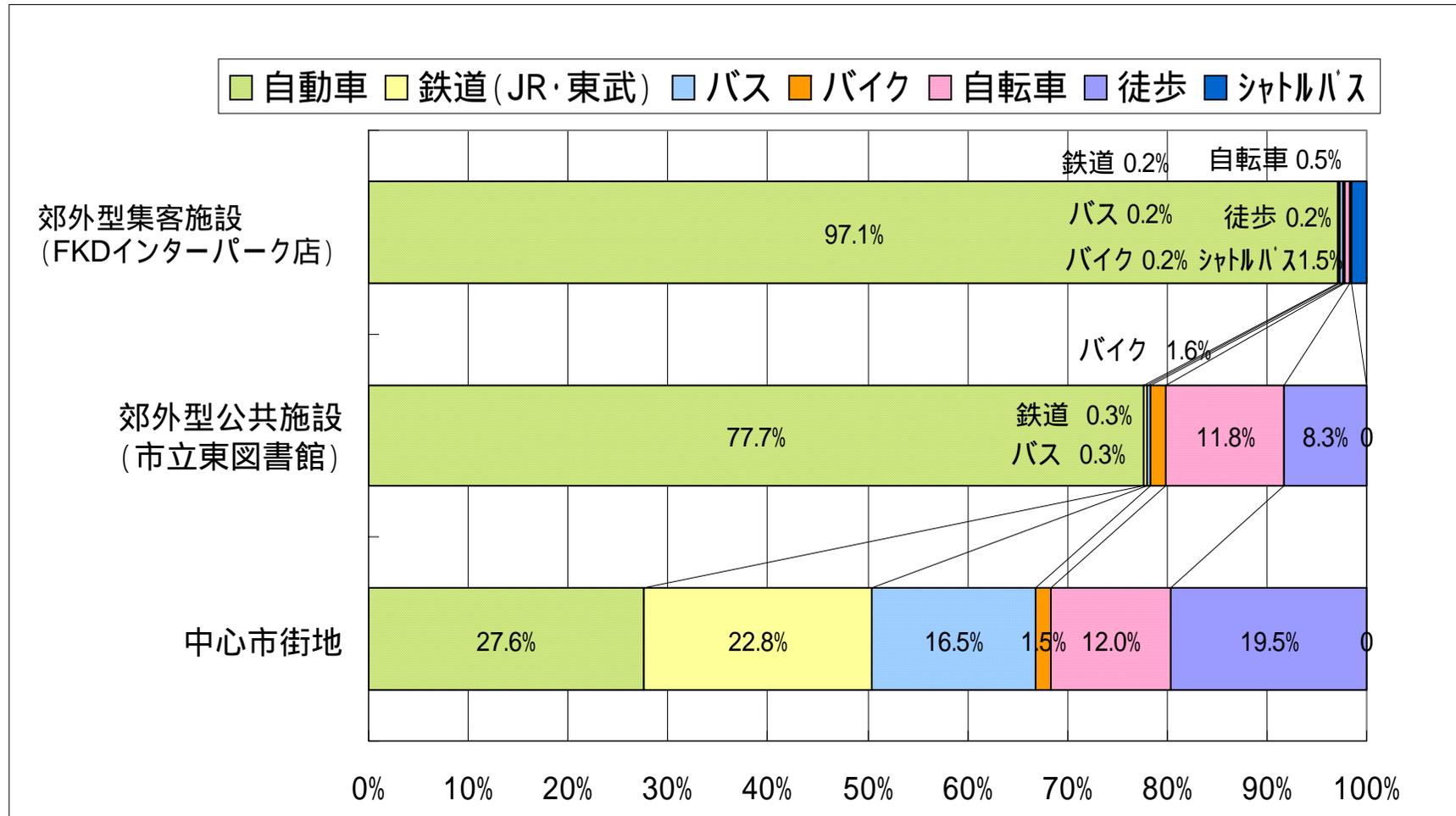
月あたりの訪問のCO₂排出量



交通分担率は変更無しとする

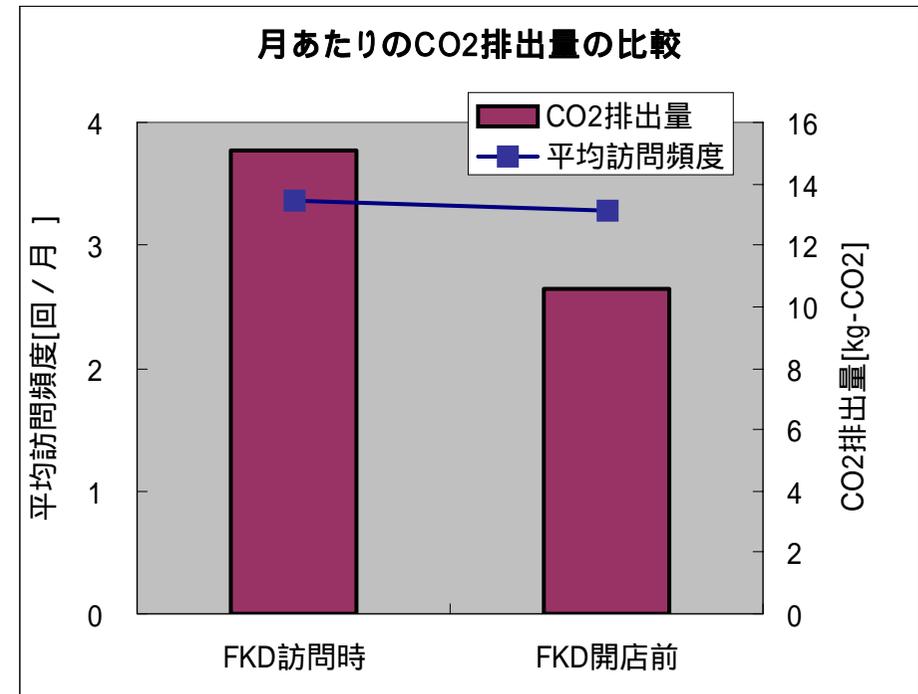
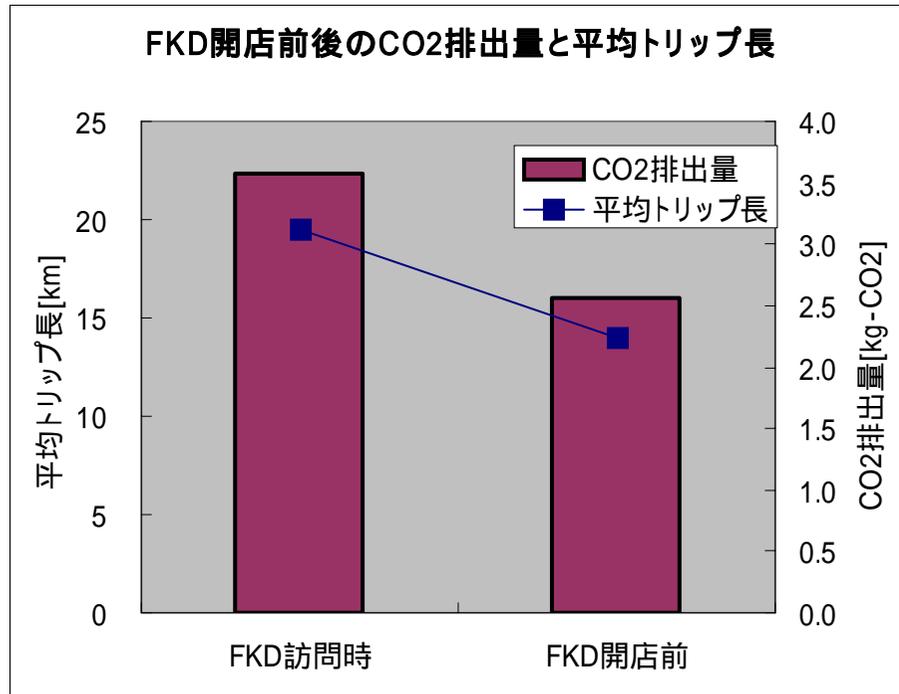
訪問頻度を考慮すると、訪問回数の多い「中心市街地」のCO₂排出量が増加するが、それでも「郊外型集客施設」よりは少ない

実地対面アンケート結果…代表交通手段の割合



CO₂排出量の推計・・・実地対面アンケートの結果 郊外型集客施設開店前後の比較

FKD開店前後の比較・・・訪問頻度を考慮



代表交通手段・・・自動車のみを対象

郊外型集客施設の開店前後を比較すると、月あたりの平均訪問回数はほぼ変化ないが、郊外型集客施設開店後の方がCO₂排出量が増加する

市内中心部就業者へのアンケート概要

宇都宮市の中心市街地で就業されている方々を対象としたアンケート調査

< 目的 >

- ・通勤時の交通動態の把握
- ・中心市街地の空洞化や街の郊外化に対する意識調査

< 実施日 >

5月8日(月) ~ 19日(金)

< 調査方法 >

- ・アンケート用紙を配布して手入力で記入いただき、回収
- ・アンケートをEXCEL形式で入力いただき、メールにて回収

< 有効回答数 >

2068

- ・宇都宮市在住者:1498
- ・栃木県内在住者(宇都宮市以外):562
- ・栃木県外在住者:8

市内中心部就業者の通勤時に関する推計

宇都宮市内中心部就業者の通勤時のアンケート結果

市内中心市街地に通勤する際のCO₂排出量：1.43kg-CO₂/回答者

年間の移動(通勤時)に伴うCO₂排出量：744kg-CO₂/回答者・年

(交通手段:変更なし、年間就業日:260日、往復移動)

宇都宮市の運輸(旅客)部門* CO₂排出量：634,658t-CO₂ から

(2003年:環境自治体会議HPから)

*運輸(旅客)部門・・・乗用車・軽乗用車・バス・貨客車 の合計とする

市内中心部の就業者(約13万人)のCO₂排出量は、宇都宮市運輸(旅客)部門全体の約15%

